



九条の会. ひがしなだ ニュース

第58号

2014年11月

事務局 中村陽一 Tel&Fax 811-4562 E-mail youichi-nakamura@kcc.zaq.ne.jp



私のひとこと

「ネット de 真実」 KEN-NYE

「ネット de 真実」という言葉をご存じでしょうか。
インターネットで流布される、出処不明の情報を、あたかも真実であるかのように扱う。そんな人を揶揄するのが「ネット de 真実」という言葉です。

「マスコミの報道が不十分」という指摘には一理あります。しかし、マスコミが書いていない情報が、「事実・真実」であるという保証はありません。むしろ、妄想や捏造である可能性も高い。多くの人が口にするからといって、事実であることは証明できません。

世間には、インターネットに限らず、こうやって流布された「デマ」がたくさん存在します。そのひとつが、ヘイトスピーチ(差別煽動)の口実にされる「在日特権」です。振り返れば、90年ほど前の朝鮮人大虐殺もデマを根拠に行われたものですし、ナチスのユダヤ弾圧も、数々のデマの上に行われました。

「小さなこと」として放置すると、尾鰭がついて膨らみ、戦争に至ることもあります。

また、考え方が近い人からの情報にも、嘘が混ざっていることはあり得ます。

「それは本当なのか？」あらゆる情報に対して、決して鵜呑みにせず、常に科学的に検証する姿勢を持っておきたいものです。

(九条の会.ひがしなだ世話人)



11月22日に憲法学習講演会

「戦場へ行く自衛隊」テーマに 長岡徹・関学大教授を招いて

安倍内閣が7月1日、集団的自衛権を容認する閣議決定を行い、「戦争する国」への動きを強めています。「自衛」「国益の保護」を名目に、活動地域のワクを外し、世界的な規模でアメリカと一緒に戦争する国へと、平和憲法の根本から覆す危険な大転換政策です。特定秘密保護法の12月施行も、迫ってきています。

こうした情勢下で、九条の会.ひがしなだでは11月22日(土)午後6時(開



場 5 時半) から、東灘区民センター第 1 会議室で、憲法学習講演会を開催します。講師は関西学院大学の長岡徹教授（憲法専攻）で、題して「戦場へ行く自衛隊～9 条改変閣議決定の帰結～」。

長岡さんは、関学 9 条の会の中心人物であり、居住地の宝塚市でも、宝塚九条の会の世話人として活躍中の、実践的な人です。

多数の参加で成功させましょう。

平和随想

憲法 9 条にノーベル平和賞？

辰巳裕規

「憲法 9 条と日本国民がノーベル平和賞の候補に？」というニュースが、最近ありました。村上春樹のノーベル文学賞とともに、今年の受賞は逃した訳ですが、その結果発表には、きっと様々な立場の人々がハラハラしたのかもしれませんが。中には冷ややかに見られていた方もいるかもしれません。

私としては、安倍首相に是非とも授賞式に参加して頂きたかったので、少し残念に思っております。しかし、憲法 9 条の価値が世界に再評価される、よい機会であったと思い、このような取り組みをされた方々には、敬意を表したいと思います。

もっとも、現実には集団的自衛権の行使容認など、憲法 9 条とは、かけ離れた実態があります。安倍首相が、憲法 9 条のノーベル賞授賞式に参加する姿は、「落語」のようで、それはそれで面白いのですが、憲法 9 条の理念とかけ離れた「国造り」が進行している現実は、「落語」にはなりません。また、憲法 9 条をノーベル平和賞ではなく、歴史遺産としてしまっってはなりません。

名実ともに、憲法 9 条にノーベル平和賞の候補者となるように、日本に暮らす人々の憲法実践が問われたニュースのように感じました。

(福島原発避難者支援兵庫弁護士事務所局長・弁護士)

史跡戦跡めぐりを 11 月 9 日に



午後 1 時半 「住吉」 駅集合で

秋の史跡戦跡めぐり（住吉北部編）を、11 月 9 日（日）13:30～JR「住吉」駅北側階段下集合で行います。時間厳守、雨天決行。

今回の“目玉”は本住吉神社・資料館、弓弦羽神社・忠魂碑、灘目・水車モニュメント、旧乾邸、住吉学園・阪神大水害記念碑といったところ。



旧乾邸

各所で、ガイドによる解説がつきます。

終了後、「住吉」駅近辺で、恒例の交流会を行います。

秋の一日、大いに知的好奇心を刺激し、英気を養いましょう。

九条の会訪問記（その34）、明石九条の会連絡会

憲法を「活かそう」に力点、6つの会が地域に根づいて

明石市内で活動している9条の会は、昨年5月に発足した西明石9条の会を加えて今、6つあります。

その6つの会は、連絡会を作って共同の運動を進めており、10月4日（土）には「活かそう9条・2014実行委員会」の主催で「邦楽と講演の午後」を成功させました。

その中心となったのが、最も早く2005年4月に小森陽一・九条の会事務局長（東大教授）を迎えて結成した「明石市民・九条の会」。その後「おおくぼ9条の会」「ふたみ9条の会」「9条を守る魚住の会」「明石年金者九条の会」「西明石9条の会」が続々と生まれ、明石全域の主要エリアを日常的にフォローできる体制を作り上げています。



邦楽と講演に元気を貰って

この日の集いは、生田流の琴と三弦、そして2度目の小森陽一さんによる『若者を戦場に送る国』にさせるな!』の講演。これに元気を貰い、「安倍内閣の打倒と国民の生活擁護、そして憲法九条を活かした、平和をしっかりと根付かせ社会を築いていこう」と呼び掛けています。



映画案内

『ジョン・ラーベ～南京のシンドラー～』

上映会のご案内

この映画は、シーメンス中国支社長でナチス党员でもあったが、1937年の日本軍による南京大虐殺にあって、現地民の保護に尽力したとされるジョン・ラーベの日記を元にした作品です。

中国、ドイツ、フランス合作でいわば中国版「シンドラーのリスト」と言える大作でもあります。ドイツでも数々の賞を取りましたが、朝香宮鳩彦王（裕仁天皇の叔父にあたる）が登場しているので、右翼の妨害を恐れた日本映画配給会社が、配給に名乗りを上げず一般公開されていません。

当日2回放映し、永田喜嗣さん（ジョン・ラーベ研究者・大阪府立大学）の講演もあります。皆様、この機会にぜひご覧下さい。

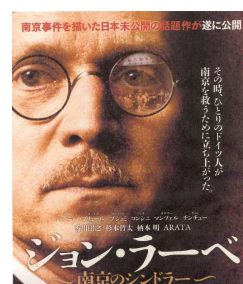
久家登志子（東灘区魚崎南町在住）

日時：11月24日（祝・月） ① 11:30～13:50

講演 14:00～15:00 ② 15:10～17:30

前売券：1200円（当日：1500円）

会場：KAVC ホール（神戸アートビレッジセンター）



主催：「ジョン・ラーベ」神戸上映実行委員会

連絡先：非核の政府を求める兵庫の会 電話 078-393-1833

あすわか から新しいチラシ 危険な秘密法と集団的自衛権の混合

あすわか（明日の自由を守る若手弁護士の会）の元気な面々が、ユーモラスなイラスト入りで、新しいチラシを作りました。12月10日に予定されている秘密保護法の施行に向けて、「秘密保護法と集団的自衛権のかかわりをもっと広くアピールしなきゃ」ということで「秘密保護法が施行された世界で集団的自衛権が行使されたらどうなる？」をテーマに、新しいチラシを作ったのです。

「秘密保護法」と「集団的自衛権」一別々でも危険ですが、この2つを混ぜると、もっと危険！！

ということで、“魔女っ子”2人が秘密保護法のビンと集団的自衛権のビンから、液体を混ぜています。

いつもと同じ、大島史子さんの天才的なイラストで、ユーモラスに仕上がっています。

ちなみに、この魔女っ子は、あすわかの本「超訳 特定秘密保護法」に出てくる“日本政府シスターズ”とのことです。



催し案内

観劇のお誘い
入場無料

FEUERSEELE
情熱に燃える魂

世界大戦勃発の直前に没した
オーストリア帝国の女性平和運動家
ベルタ・フォン・シュタインの生涯

出演：MAXI BLAHA

「第一次世界大戦開戦100年と青野原捕虜収容所」
オープニングセレモニー
会場：神戸大学百年記念館
日時：10月30日(木) 18:00～19:30 (11:30開演)

連絡先：神戸大学地域連携推進室
〒651-8511 神戸市東灘区中野町1-1
Tel. 078-803-5427 Fax: 078-803-5889
E-mail: kyu1-chika@office.kobe-u.ac.jp

展示会「第一次世界大戦開戦 100年と青野原捕虜収容所」 ～箱庭の中央ヨーロッパ～

2014年11月10日(月)～11月28日(金)

(土・日・祝日は除く、開場時間 10:00～17:00)

神戸大学百年記念館 1階展示ホール

(神戸大学六甲台第2キャンパス内)

連絡先：神戸大学地域連携室 電話 078-803-5427

入場無料

11月と12月の世話人会の日取り

11月：11月22日(土) 10時～12時 東灘区民センター第5会議室(8階)

12月：12月13日(土) 10時～12時 東灘区民センター第4会議室(8階)